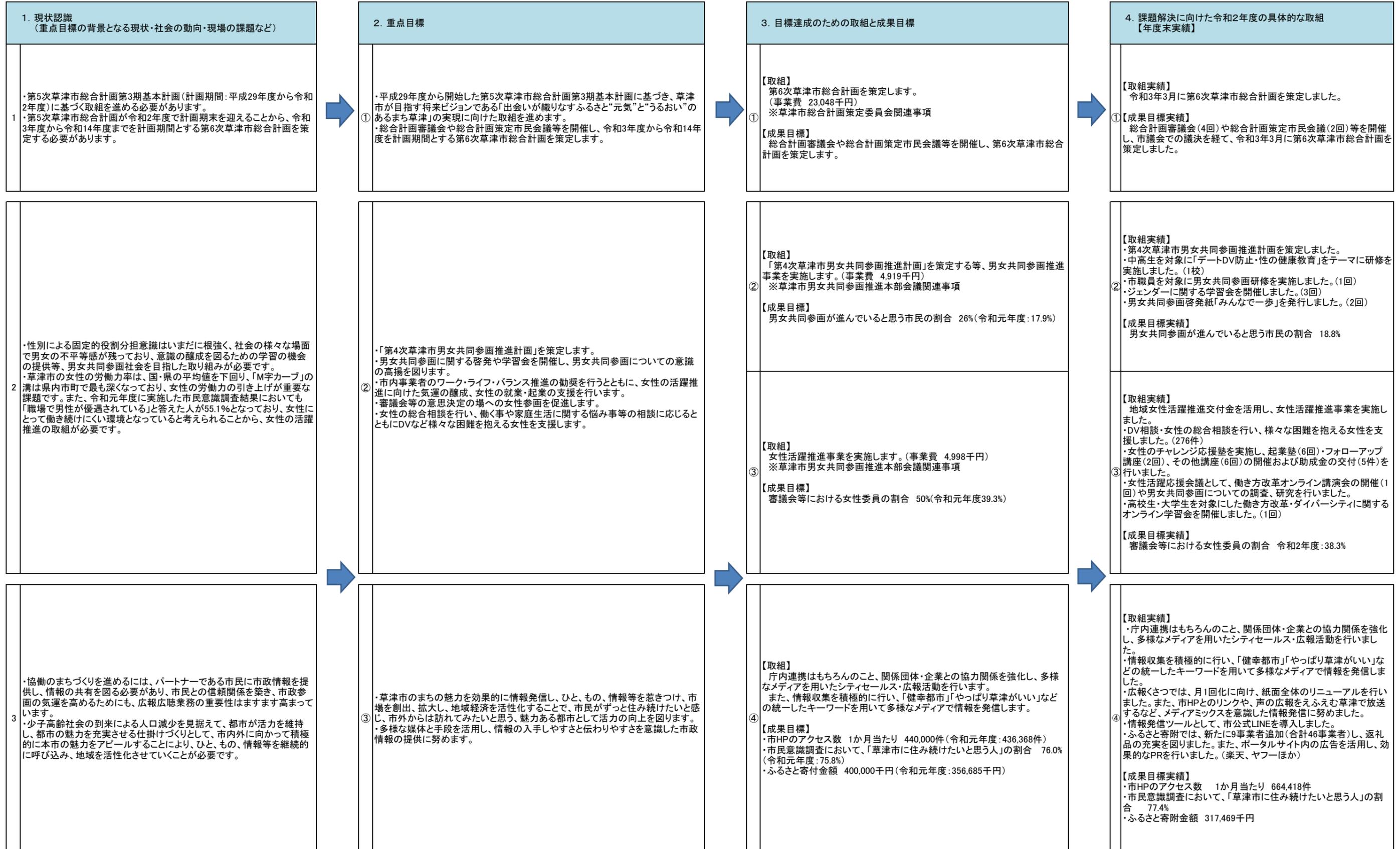


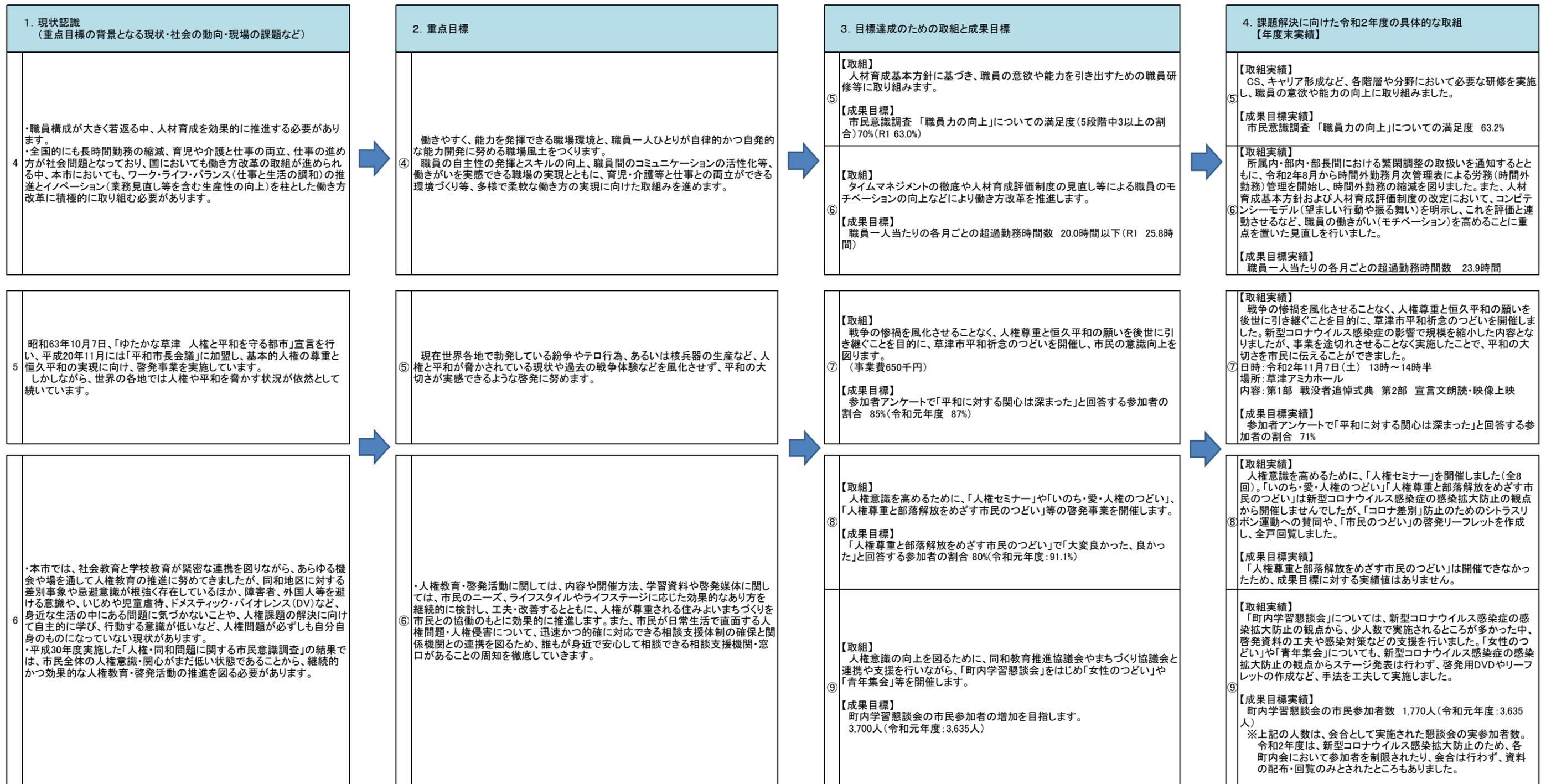
# 《令和2年度 総合政策部 組織目標の達成状況》

**重** 令和2年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

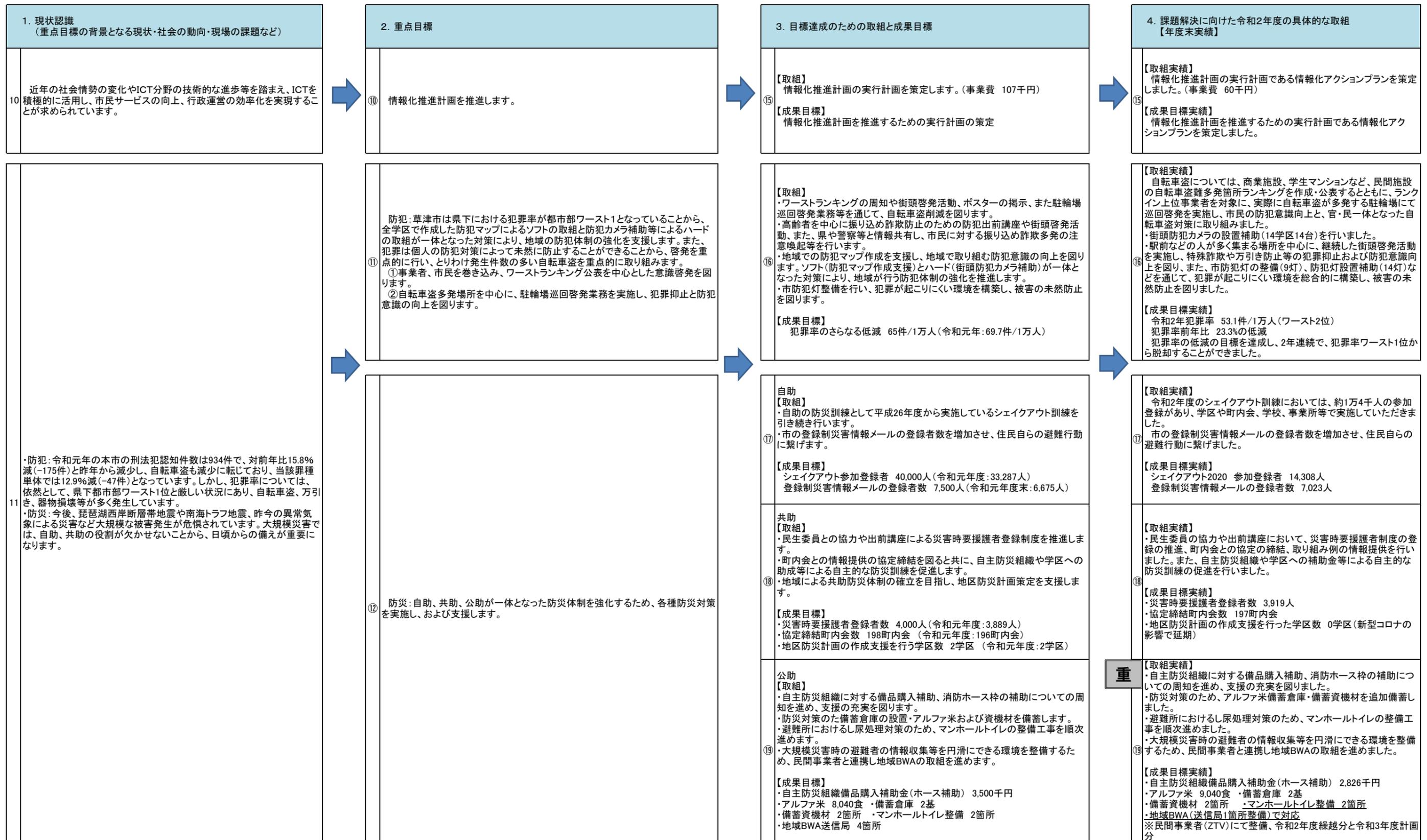
◆目標管理者

部長	田中 祥温
理事兼危機管理監	松下 正寿
理事	堀田 智恵子





1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和2年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>・地方分権が進む中で、自治体が自己責任、自己決定のもとに、自治体経営感覚を養い、将来の草津市の姿を描くことが求められています。</p> <p>・人口減少と超高齢社会を見据え、時代を先取りした中長期な展望に立ち、市政に関する問題や課題を早期に発見し、その対策を練ることが求められています。</p> <p>・複合化・複雑化する都市課題に対応できるよう、産学公民が連携して様々な未来の選択肢を準備していくことが求められています。</p>	<p>・社会の変化に対応した市政を目指し、市民ニーズの充足や政策課題の解決に向けた政策を実施していくためには、「政策形成能力」を向上させることが重要です。そのためには、新しい行政スタイルの構築が必要であり、分権型社会に対応した</p> <p>⑦ 「地方政府」として、政策志向の自治体に進化する必要があります。</p> <p>・複合化・複雑化した都市課題に対して、【産・学・公・民】のそれぞれの立場で活動する個人や組織が、様々な場面で連携・協力・協働して解決に取り組む、そのコラボレーションを進めるための「プラットフォーム」が必要です。</p>	<p>⑩ 【取組】 以下をテーマとした調査研究の実施を予定してします。 ① デジタル技術を活用した交通環境に関する調査研究 ② 「ワークライフバランス」と「健康寿命」の関係性に関する調査研究 (事業費 1,921千円)</p> <p>【成果目標】 市職員や市民、関係者等に調査研究結果を提供し、次のように活用します。 ① これからの時代にふさわしい交通環境のあり方の参考として ② 健康寿命延伸に有効な取組みの参考として</p> <p>⑪ 【取組】 ① 産学公民のそれぞれの立場で活躍する個人や組織が気軽に自由に草津の未来のあり方について対話する場を運営します。 ② 対話から浮き彫りになった都市課題を解決するために必要な知識等を学び合う機会を提供します。 ③ 都市課題の解決策の有効性を検証するための社会実験をデザインするための準備事業等を行います。(事業費 20,073千円)</p> <p>【成果目標】 ① 産学公民連携を図りつつ、多様な方を交えたプログラムを実施します。 ② アーバンデザインについて考えるセミナー等を実施します。 ③ 都市(地域)課題の解決策を検証する社会実験準備事業等を実施します。 一日平均利用者数 50人(令和元年度:45.84人) 産・学・公・民事業連携相談件数 150件</p>	<p>⑩ 【取組実績】 コロナ禍の影響を受けつつも、以下をテーマとした調査研究を実施し、報告書にまとめました。 ① 草津市におけるデジタル技術を活用した移動に関する調査研究 ② 人口移動調査からみる各学区・地区の姿</p> <p>【成果目標実績】 庁内各部署や市民等に調査研究結果をまとめました。</p> <p>⑪ 【取組実績】 コロナ禍の影響を受け、感染症対策を実施し、以下の事業を遂行しました。 ① 利用者の方に様々なアンケート調査を通じて、まちづくりに関心を持っていただく機会を設けました。 ② 都市と交通プロジェクトでは、アーバンデザインセミナー参加者からワークショップの参加者を募り、産学公民連携の元、未来のシナリオを作成しました。 ③ 社会実験準備事業等委託(2大学・6提案)を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 一日平均利用者数 28.86人 (オープンスペース利用者数 5,361人 セミナー等参加者数 585人) 産・学・公・民事業連携相談件数 67件</p>
<p>⑧ JR南草津駅周辺は、駅開業や立命館大学びわこくさつキャンパスの開学を契機として、世代を越えて多くの方々が交流する、活力ある市街地として発展を遂げてきましたが、一方で、交通渋滞の慢性化や既存の地域資源、公共施設の連携・活用が不十分であることなど、まちづくり上の課題が見受けられる状況にあります。</p>	<p>⑧ 南草津駅周辺とその周囲の地域も含めた「南草津エリア」を設定し、エリア内の現状と課題を踏まえ、将来のまちづくりの中心的役割を担うまちとして発展できるよう、エリアの将来像やその実現に向けた方策等をまとめます。</p>	<p>⑫ 【取組】 南草津エリアの将来像とまちづくりの方向性を「南草津エリアまちづくり推進ビジョン」(「みなくさビジョン」としてまとめるに当たり、まちの新たな魅力や価値の創造につながる「大学のあるまちづくり」の視点から、立命館大学の積極的かつ主体的な参画を求めるとともに、市民をはじめ、南草津エリアに関わりが深いJRや企業等を構成員とする懇話会を設置し、意見の集約およびビジョンへの反映を行います。【都市計画部連携】 (事業費 500千円)</p> <p>【成果目標】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 72.0%(令和元年度 68.0%)</p>	<p>⑫ 【取組実績】 南草津エリアの将来像とまちづくりの方向性を「南草津エリアまちづくり推進ビジョン」(「みなくさビジョン」として策定に向け、懇話会を設置し、当初予定通り5回開催をし、意見の集約およびビジョンへの反映を行いました。【都市計画部連携】</p> <p>【成果目標実績】 良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合 71.1%</p>
<p>⑨ 社会や市民ニーズの変化に対応し、将来にわたり持続可能で最適な行政サービスの実現を図るため、行政改革の推進や公民連携の強化をさらに進めていく必要があります。</p>	<p>⑨ ・多様化・複雑化する市民ニーズへ対応するため、「第3次草津市行政システム改革推進計画」に基づき、草津市を構成する様々な社会資源や地域資源を活用する地域経営のために、公共の再編を行うことにより、持続可能な共生社会の構築を目指します。</p> <p>・本来、行政が担うべき業務への適正な職員配置と市民サービスの向上を図るため、新たな分野への積極的なアウトソーシングの導入を推進するとともに、AI(人工知能)、RPA(ロボットによる業務自動化)等の先端技術の活用により、職員の業務負担の軽減と市民サービスの向上を図ります。</p>	<p>⑬ 【取組】 「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクションプランに基づく取組を進めるとともに、計画期間の最終年度に当たることから、これまでの取組の総括評価を行い、課題等を踏まえたうえでの次期計画の策定を行います。 (事業費 5,816千円) ※草津市行政システム改革推進本部会議関連事項</p> <p>【成果目標】 「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクションプランの取組を計画どおりに進め成果を上げるとともに、次期計画の策定を行うことにより、将来にわたって健全で持続可能な行政経営を図ります。</p> <p>⑭ 【取組】 これまでに業務分析した結果や業務フローを活用し、段階的なアウトソーシングの導入やAI・RPA・ICT等の先端技術の活用を図ります。 また、滋賀県や県内市町で構成する「スマート自治体滋賀モデル研究会」に参画することにより、滋賀県および県内市町が連携してICT等の活用に関する研究を進めます。 (事業費 9,862千円)</p> <p>【成果目標】 AI-OCRおよびRPAの導入やAI議事録、多言語通訳サービスを活用することにより、業務の効率化や市民サービスの向上を図ります。また、「スマート自治体滋賀モデル研究会」に参画し、県や市町の枠組みを超えた行政手続きの電子化を推進するとともに、いつでもどこからでもアクセスしやすい行政窓口の実現に向けた取組を進めます。</p>	<p>⑬ 【取組実績】 「第3次草津市行政システム改革推進計画」についての総括評価を行うに当たり、内部評価だけでなく、草津市行政システム改革推進委員会による公開ヒアリングを実施し、外部からの意見や課題を整理した上で、その評価結果を反映し、次期計画である「草津市行政経営改革プラン」を策定しました。</p> <p>⑭ 【成果目標実績】 「草津市行政経営改革プラン」に基づき令和3年度からの取組を進めるため、プロジェクトチームである行政経営改革推進チームと連携して、事業の見直しの更なる徹底を進めるためのリストの作成や、人材育成基本方針の見直しに当たっての提案をまとめました。また、当該アクションプランの目標値を明確化することにより、取組の達成状況の更なる見える化を図りました。</p> <p>⑭ 【取組実績】 これまでの業務分析に基づき、会計審査事務へアウトソーシングを導入するとともに、AI・RPA・ICT等の先端技術の活用を図りました。 また、「スマート自治体滋賀モデル研究会」に参画し、「くらしの手続きガイド」や「電子申請システム」の実証実験を行い、来年度以降の本格導入へ繋げました。</p> <p>【成果目標実績】 AI-OCRおよびRPAの本格導入を他市と共同調達したことや、AI議事録、多言語通訳サービスの本格導入を行い、業務の効率化や市民サービスの向上を図りました。また、プロジェクトチームであるRPA等利活用検討チームによるRPAのシナリオ作成(20種類以上)や先端技術活用に関する人材育成を図りました。</p>



**重**